

**■京都市の目指す子ども像 ■伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り開く子ども****【学校教育において重視する視点】～中学校教育～**

- 1 学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育む
- 2 毎日の家庭学習により、自主的な学びにつながる自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にする態度を育成する
- 4 「公共の精神」に基づく態度を育成する

**【『生きる力』を育む基本的な考え方～知・徳・体の調和のとれた育成～****○「確かな学力」の育成**

- (1)社会とのつながり・接続を実感できる教科教育
- (2)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (3)課題発見・解決型の探究活動を通した知識・技能の活用
- (4)「主体的・対話的で深い学びの過程」の実現
- (5)グローバル化時代に対応する実践的な語力の育成
- (6)理数教育の充実
- (7)LD等支援の必要な子どもの学力向上

**○「豊かな心」の育成**

- (1)道徳教育の充実
- (2)伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- (3)規範意識の育成
- (4)多様性を理解する姿勢の涵養
- (5)支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

**○「健やかな体」の育成に向けて**

- (1)運動やスポーツの実践と体力の向上
- (2)保健教育の充実
- (3)食に関する指導の推進
- (4)飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- (5)安全教育の充実

**■ 北野中学校****I 学校教育目標**

「自他を大切にし、心豊かな未来を拓く力を育てる」

**II 基本方針**

1. 基礎基本の定着を図り、授業の【目標】【まとめ】【振り返り】を徹底する。
2. 家庭学習の積み重ねにより、自学自習の習慣化を図る。
3. 人権尊重の精神を基盤に、互いを認め合い励ましあう集団作り。
4. 規範意識を高め、地域社会に貢献できる意識と行動力を育てる。

**III 重点課題**

1. 学力向上を目指す指導方法や指導体制の工夫改善を図り、確実な進路保障
2. 「言語活動」を中心とした『主体的・対話的で深い学び』への取り組み
3. 個々の子供の課題を明確にし、その子の特性に合った学習支援の実施
4. 道徳教育の充実により、支え合い高め合う集団づくりの推進
5. 生徒の「命を守りきり、育む」教育の推進
6. 様々な心身の特性や考え方を理解し認識する力を育てる
7. 自らの健康、保持増進を図り、望ましい生活習慣を実践できる資質の育成
8. 教育者としての責任を自覚するとともに、その専門性を高める
9. 【よんきゅう絆プロジェクト（4中9小一貫教育）】の推進